

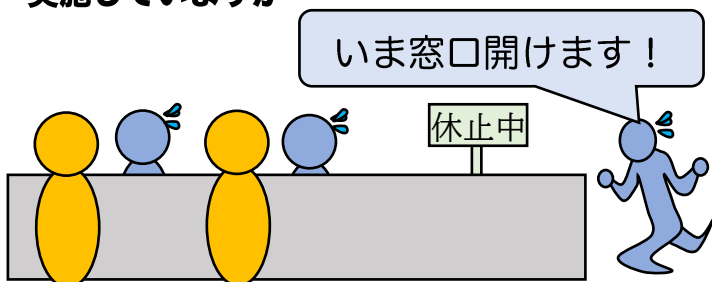


10月19日 東地申第27号

「2022年度営業関係施策(その1)」についての申し入れ【柏駅・王子駅】提出!

柏駅では一部窓口の波動化、王子駅では出札窓口の閉鎖と話せる指定席券売機の設置が示されています。

柏駅では、現在1窓を波動ダイヤとしてコロナ感染対策や企画業務ができる体制を現場の発意で実施していますが…

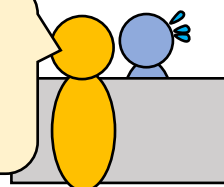


徒列が出来てすぐに3窓体制に戻しているのが現状なのに、**なぜ体制見直しできると判断したのか?**

感染対策や会社発展のために現場で発意したものが施策となり、要員減に!
現場での納得感は全くなく、
不満の声が多く寄せられている!!

王子駅では出札閉鎖を告知してから、お客さまからの問い合わせが多く…

ジパング倶楽部のきっぷは、これからどのようにすればいいの?

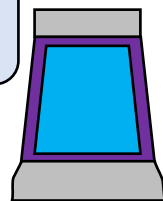


特にジパング倶楽部のお客さまからの問い合わせが多くを占めている!



このようなお客さまに対応できるのか?

社員からは不安の声が!



話せる指定席券売機も、お客さまをお待たせしている実態がある。
地域のお客さまのニーズに答えられない!!

このままでは「社員と家族の幸福の実現」「地域に根差した駅」の実現は**不可能だ!**

<申し入れ項目>

1. 今施策を実施できる根拠を具体的に示すこと。
2. 定期券多売期や繁忙期の体制を強化すること。また、柏駅において出札窓口が混雑した際の対応方法について具体的に示すこと。
3. 出札窓口の閉鎖や一部窓口の波動化に伴い混雑が予想されることから、お客さま及び関係箇所への周知を徹底すること。
4. 出札スキルを低下させないための方法を具体的に示すとともに、スキル・知識の向上をさせるための方法を具体的に示すこと。
5. 新たな作業ダイヤは、現場で働く社員の意見を反映させながら作成すること。
6. 必要な設備の整備をおこなうこと。

お客さまに安心してご利用いただける駅の実現と、
現場で働く仲間の不安を解消するため、団体交渉に臨みます!